

令和3年度「学ぶ力」育成プログラム					学校番号：25018 学校名：西岡南小学校
改訂のポイント		○5年間の授業改善計画5年目＜1年目：自己点検⇒2,3,4年目：改善⇒5年目：点検・検証＞ ○子どもの言葉でつながる授業 ※子どもにゆだね、話しすぎない授業づくり 教師の言葉 ＜ 子どもの言葉 ○「家庭との協力（家庭学習マニュアル）」による学習習慣の確立と充実、検証と考察 ○「小中一貫」の取組での児童の実態と指導事項の確認と共有化を継続			
項目名	項目内容	項 目 内 容 の 具 体			
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆自ら問題意識をもって解決に向かう子ども ☆学び合いから、学ぶよさを感じる子ども ※「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けさせる取組			
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 子どもの実態を捉え、目の前の子どもに身に付けさせたい力の明確化を継続	【成果】 ⇒子どもが「やってみたい」「できそう」と思えるように対象と出合わせる工夫の充実（学ぶ意欲の向上→独自アンケートによる）	【課題】 ◇「何を」「何のために」学ばせているのか、課題を意識させた学習に課題 ◇「課題探求的な学習」を取り入れた授業作りに課題	
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 言葉をつなげることによる、問題の解決と活用場面の充実化（感染症拡大に配慮）	【成果】 ⇒目的意識や相手意識をもった子どもの話し合い活動が充実（話し合いへの意欲80%超を維持→独自アンケートによる）	【課題】 ◇言葉を理解する、比べる、つなげるといった「きく力」の育成に課題 ◇教師の言葉に頼らず、子どもの言葉で解決を図らせる経験の不足	
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 土台となる既習（知識・技能）を身に付け、引き出し、子どもの問題解決に生かす（朝活動の充実）	【成果】 ⇒既習事項の明確化、活用場面の特定化による見通しをもった活動展開の工夫（既習を生かす意識90%を維持→独自アンケートによる）	【課題】 ◇6年間（9年間）で子どもを育てるための見通しをもった学習指導と基礎的・基本的な知識や技能の定着に課題	
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 自ら考え、学び合う子どもの育成を目指す			
	具体的な改善策（取組）	○新学習指導要領、4年間の研究の取組を生かし「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ○子どもの言葉でつなぐ学習展開を図る⇒一人一人の学びの成立を目指す教師の子どもへの関わりについての校内研修の実施 ※子どもにゆだね、話しすぎない授業づくり 教師の言葉 ＜ 子どもの言葉 ○研究教科部会（国語、算数、道徳）を設定し、授業改善に向けた校内研修（研究会での授業公開）の継続実施 ○家庭との連携強化を図るために、家庭学習ハンドブックの配付と取組の共有化、成果課題の確認（プロジェクト） ○朝活動（8：25～8：35）の時間の取組の見直しと改善			
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○西岡南小学校「学びを確かめる会」（10/15）の開催により、更なる授業改善の実施 ○「きく」力の育成と振り返り（学期末・計3回）の実施と検証を継続 ○日常的なノート指導の充実を通して、子どもの学びの評価・価値付けを実施 ○校内研修等を活用し、「市内小学校5学年を対象とした学習に係る意識調査」結果（札幌市全体の共通指標）や標準学力検査、独自アンケート結果等を分析、学校全体の傾向として共有			